



被災者支援と災害時の応援職員受入体制について

平井 玲子 議員



被災者支援について

質問 罹災証明書は、窓口での申請のほか、オンラインでも申請ができるということですか。罹災証明書の交付を申請した後、市の被害認定調査を受けることになりますが、調査を受けるまでは、被害を受けた状態を残しておくことが望ましいでしょうか。

答弁 可能な限り被災時の状況、状態を保っていたかどうかようお願いすることになります。しかしながら、調査前に片付けを行わざるを得ない場合は、事前に被害を受けた箇所や家屋全体の様子を、複数の方向から写真に残していただくようお願いいたします。



湯けむり国スポ・全スポぐんま 2029の開催について

小林 但弥 議員



湯けむり国スポ・全スポぐんま

質問 本年7月15日、湯けむり国スポ・全スポぐんま2029の本県開催が正式に決定されました。46年ぶりの開催となり、本市でも正式競技3競技、デモンストレーションスポーツ1競技の開催が決定されています。その準備と進捗状況について伺います。

答弁 本市では正式競技としてローイング、レスリング、軟式野球の3競技、デモンストレーションスポーツとしてウォーキングの計4競技の開催が正式決定されました。今後、「国民スポーツ大会館林市実行委員会」を設立し、各団体関係者の方々に協力をいただきます。

市ホームページに

「被災したときに必要な手続き」といったページを設けるなど、市民の皆様が必要な情報を一か所で確認できるような周知について伺います。

答弁 平時からどのように発信、周知していくべきか、議員の提案も参考に調査研究を進めていきます。

災害時の応援職員受入体制について

質問 被害状況や業務量、参集できる職員数などを踏

き、大会開催に向け準備を進めていきます。

質問 軟式野球競技の会場である城沼野球場について、スコアボード、トイレ等をどのように整備していくのか伺います。

答弁 指名打者制度に対応したスコアボードの改修、球場内の女性トイレや障がいのある方に配慮したトイレの整備を含めた、球場全体の改修整備のための設計業務委託を今年度発注し、設計を進めています。

まえて、不足する人員を算定するための「目安や「考え方」を平時から整理しておくことについて、本市の考えを伺います。

答弁 本市の災害時受援計画では、発災時の状況や確保できる職員数にに応じ、優先度の高い業務から柔軟に対応することを前提としています。現在作成している受援業務シート等についても、柔軟な対応を基本として、被害規模に応じた人員の目安や考え方をどのよ

質問 ローイング競技は城沼が会場になっていますが、コース設定やトイレ、更衣室、ウォーミングアップ会場はどのように整備していくのか伺います。

答弁 コースの長さは1000mで、競漕レーン5レーンに加え回漕レーンを設けます。トイレ、更衣室、ウォーミングアップ会場等については、さきに開催した県の事例を参考にしながら、今後検討していきます。

うに位置づけられるか、今後の実務的な課題として調査研究を進めていきます。

災害時受援計画の見直しについて伺います。

答弁 上位計画である地域防災計画の修正や防災訓練等を通じた課題の抽出、組織機構や社会情勢の変化などを的確に捉え、必要に応じて随時見直しを図ります。



はダノン城沼アリーナを使用しますが、ウォーミングアップ会場やトイレ等の整備について伺います。

答弁 ウォーミングアップ会場には、ダノン城沼アリーナ1階の柔道場・剣道場・トレーニング室を考慮しています。トイレの改修は、利用者の利便性向上などを図る上で重要な課題であると認識しており、給排水設備の改修などについて、財源も含めて検討していきます。